

新盛里山耕流塾

NEWS もりの里5月号

5月は、一大イベントの田植えが終わるまでは、忙しい日々をすごします。今年度は、田植えの面積が、昨年度の倍以上の面積になり、昨年以上に賑やかになりました。秋の収穫が楽しみです。今回は、増頁してお届けします。

ご意見・ご感想はこちらへ
足助支所地域振興担当 多和田、山田
TEL: (0565)-62-0601
E-mail: asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

発行:足助支所 発行日:平成21年6月1日

5/3 にもりの里 農業塾、5/3&10 にプレ山遊びコース、5/10&17 に旬裁食が開催されました！

もりの里☆市民農園

もりの里 農業塾 田 トラクター&草刈機初挑戦の巻

5月3日のもりの里 農業塾の田では、トラクターの使い方と田の起こし方、草刈機の使い方と草の借り方を学びました。



朝9時よりスケジュールや注意事項を受け、作業が始まりました。トラクターに初挑戦の方は、始めは肩に力が入り、緊張しながらの運転でしたが、徐々に慣れてきて、15分程度で自分の田を起こすことができました。

草刈りは、講師の見本のようには刈れなくて戸惑いもありましたが、慣れてくると様になり、草も集まるようになりました。

アザミを残しながらの草刈は大変でしたが、可憐な花が咲いていると刈り取れないようです。



獣との戦い！！ 畑

午後から猪対策のフェンスの取り付け作業をしました。



ひのきの木の皮ムキ作業を行い、フェンスを支える杭を作りました。



杭を畑の周りに3メートル間隔で打ち込み、金網を取り付けて完成しました。



もりの里 農業塾 畑 いよいよ作付けの巻



朝9時より植え付け用の畝作りとマルチ（草が生えないように畝に被せる黒いビニール）の被せ方を受講しました。

畝作りは、肥料の入れ方などを学び、その後は、各自の区画で実際に作業を行いました。

もりの里 市民農園 田 田植えまでの道のりの巻

もりの里 市民農園の田では、5月17日に代掻き、5月24日に田植えが行われました。

5月17日は、雨天のため雨かっぱを着ての作業になりましたが、トラクターに乗って、代掻き作業を行いました。初めての経験でしたので旋回するタイミングが遅れてしまったり、イメージどおりにトラクターを運転できずに少し苦労しました。

また、畦に開いたもぐらの穴の点検や穴埋め作業をしました。穴が開いたままだと水が漏れてしまい、稲の育ちに影響したり、畦が壊れて修理が大変になるので早めに点検補修をします。作業は午前中に終了しました。



5月24日は、歩行型2条田植え機を使用して田植え作業を行いました。

初めての体験と慣れない泥に足を取られながらの作業に悪戦苦闘していましたが、皆さんやる気満々で、何とか田植え機を操作して、全て植え終えたときの表情は、ものすごく満足そうでした。秋の稲刈りが楽しみです。

作業が終わり、田植え餅を作って祝うという地元の昔からの習慣にならって、五平餅を皆さんで作り祝いました。みそタレは講師秘伝?のタレで、大変好評でした。



プレ山遊びコース

拠点づくりを楽しむ の巻

今年度の「山遊びコース」は、拠点となる場作りから始まります。

5月3日は、午後から小屋づくりの材料となる木の皮むきを行いました。今の季節の木は水分を吸い上げているので、皮の小口を少しむいて、手で持っていききに持ち上げるとサーッと気持ちが良いほどに皮がはがれ、比較的簡単に皮がむけます。



5月10日は、朝9時より前回、皮をむいた木を柱と梁に加工して重機を使い、組立てました。小屋は、土手の上に建つため安全の為に柵も作りしました。

午後になってやっと組み上がり、参加者全員でお祝いをして餅投げの代わりにお菓子投げをしました。



ほっ、とひと息 ~写真集~



これからの農作業について語る!



旬裁食

畑作業は重労働 の巻

5月10日の「旬裁食」は、田の代掻き、夏野菜の植え付け、春野菜の調理を行いました。

午前9時から田んぼと畑の2班に別れて作業を行いました。

田んぼの班は、トラクターで代掻きを行いました。

1日かけて作業を終え、来週の田植えに備えました。



畑の班は、夏野菜の植え付けを行うため、人力で畝作りを行いました。2日前に降った雨のため、土がとても重く、重労働になりました。

午後からは、夏野菜の苗の植え付けを行いました。



ほっ、とひと息 ~写真集~

準備体操で体をほぐします



特設泥んこ遊び場ができました



貴重な！？戦力です！！



特産品開発中！！



春野菜の自給自足 の巻

昼食前には、赤花絹サヤエンドウ、コゴミ、セリなどの春野菜を収穫しました。

収穫した春野菜は、その場で調理を行い、昼食のときに試食しました。



赤花絹サヤエンドウのパター醤油炒め

ニラのちぢみ

コゴミのマヨネーズ醤油和え

セリの炒め物

試食した旬の食材



受講生の感想

トラクターの運転でエンストさせてしまい恥ずかしかった。田を均すことの大変さがわかった。(親)

畑は、作業がとても疲れた。肥料に腐葉土や米ぬかなど手近な物を使っているの、どのような作物になるのか、早く食べてみたい。(親)

田んぼに入って、水遊びが楽しかった。(子)

アメンボを捕まえて楽しかった。(子)

旬裁食

田植え機デビューの巻

5月17日の「旬裁食」は、雨天のため、畑作業ができませんでしたが、田植えと五平餅づくりを行いました。

昨年の田植えは、全て手植えでしたので、受講生から「機械植えもしたい!」というリクエストに応じて、講師が大奮発して乗用田植え機が準備されました。もちろん、手植えも体験しました



昼食前にぼた餅用のいちごを取り、昼食のときに五平餅とぼた餅を自分で作って試食しました。

五平餅は、10年くらい前までは、この地区のお祭りの時には、必ず作っていたそうです。

試食した旬の食材



五平餅



ぼた餅

ほっ、とひと息 ~写真集~



火起こし班?



お疲れ様

受講生の感想

初めて田植え機に乗った。田植え機の操作は、始めは緊張したが、楽しかった。あと、作業後の火のぬくもりがあった。(親)

田植えは、腰が痛くなりそうになり、手で植える大変さがわかった。調理は、楽しみにしていた五平餅が焼けて良かった。(親)

午後からの参加になってしまい、何も作業をしなかったが、ここに来ただけでも気分転換ができて良かった。(親)

田植えは、結構簡単だった。(子)

蛙を捕まえて楽しかった。(子)

山里暮らしの知恵袋 第11話 ~ 気象情報にまつわるお話 ~

講師より

山里に受け継がれている知恵袋を紹介するコーナー。第11話目のテーマは、気象情報。

ツバメ、アマガエル、月にかさ・・・

種をまいたり、苗を植え付けると水やりに気を配る。管理作業を含め、農業をやる上で気象情報は欠かせないものである。

「夕焼けは晴れ、朝焼けは雨」、「ツバメが低いところを飛ぶと雨」、「アマガエルは雨を呼んで鳴く」、「月にかさがかかると翌日は雨」など子どものころに大人から聞いて、なるほどと実感したものである。

気象衛星などない頃は、先人は、毎日の生活の微妙な変化から気象情報をつかんでいた。外部情報に頼りがちな昨今、自然の微妙な変化を察知して生きていく技をどのくらい自分は持っているだろうかと考えるといささか疑問である。

さて、みなさんは?